

## 令和元年度上半期 造血細胞移植委員会活動報告

委員長：橋井佳子 委員：平山雅浩、福島啓太郎、井口晶裕、安井昌博、加藤 格、  
日野もえ子、田中久道  
オブザーバー：矢部普正 長澤正之、佐藤 篤、森本 哲 敬称略

令和元年度 日本小児血液がん学会・造血細胞移植委員会を名古屋医療センター 外来管理  
診療棟 4 階 第二会議室にておこなった。本委員会で各委員の担当事案の進捗状況の報告  
と問題点を検討した。

- 1) 移植後ワクチン接種のガイドラインの有効性の検証について（佐藤委員オブザーバー、  
福島委員）佐藤オブザーバー委員が中心となりハートリンクワーキングプロジェクトへ  
の研究助成応募し、助成が認められた。現在、アンケートを作成し小児血液がん学会倫  
理審査依頼中である。
- 2) 福田班において小児科において長期フォローアップ外来開設割合が低いことが明らか  
になり、福田班と連携することが提案され、今後、連携して小児特有の問題の解決するこ  
ととなった。平山委員担当。
- 3) 造血細胞採取ガイドラインの作成、末梢血幹細胞採取のドナーパンフレット作成につい  
て、造血細胞採取ガイドラインの作成 を井口委員、安井委員でドラフト作成された。  
造血細胞移植学会ドナー委員会と調整中
- 4) TRUMP の改訂につき、森本オブザーバー委員とともに議論に参加し小児に対するデータ  
収集項目を担当した。また森本オブザーバー委員は本委員会の任期が終了しているが  
TRUMP データの改訂は継続性が高いことから TRUMP 改訂委員として了承された。現在  
TRUMP データ調査項目定義作成をおこなっている。
- 5) 小児ドナーの安全性調査に関する疫学観察研究について  
2019 年 5 月末で約 100 施設、約 900 症例を収集することができた。2020 年日本造血細  
胞移植学会で発表する予定である。
- 6) 造血細胞移植の関わる臨床試験等に関するデータ収集を一元化することについて JCCG  
との連携、非悪性疾患患者への移植など多疾患に渡ることから日野委員が日本小児血液  
がん学会の担当者としてマネジメントをおこなうこととなった。
- 7) 2019 年度第 3 回 7 月 13 日、第 4 回 9 月 11 日 JSHCT/JDCHCT 造血細胞移植登録一元管理  
委員会に小児血液がん学会造血細胞移植委員長として出席した。JDCHCT 造血細胞移植登  
録一元管理委員会メンバーとして 6 件の研究審査に関わった。

文責 橋井佳子